

第5学年 学級活動指導案

日時：平成27年10月7日（木）第5校時
場所：5年教室（3階）
授業者：神谷 聖子
児童数：男20名、女17名

1 単元名

「メールって便利だね。でもマナーも大切」

内容項目 節度1－（1）

2 指導の立場

（1）子どもの実態

学級の子どもは、とても活発な子が多い。しかし、楽しいことに夢中になってしまい節度のない行動をとってしまうことがある。相手の気持ちにたって行動することや節度のある行動ができるよう指導する必要がある。

事前アンケートでは、携帯電話の所持率は81%で、携帯の使い方に決まりがあるかでは、57%の児童が「はい」と答えた。将来、自分のケータイを持ちたいと思っているのかでは、97%であった。今後の利用率が伸びることが予想できるため、携帯の使い方について学習し、節度ある使い方ができるようにしたい。

（2）本時の指導について

スマートフォンやSNS等を使い、いつでも気軽なやりとりを楽しんでいる子どもの姿が多く見られるようになった。休日に遊ぶ相手を探したりする際には、大変便利な道具である。しかし、発信したメールやメッセージは、必ず相手に届いているとは限らず、サービスが停止されていたり、相手が着信に気付かなかったりすることもある。また、相手がメールやメッセージを読んでいても、返信できない状況にいる場合もある。このような状況を考えず「いつでもつながる」という意識でいると、返信がすぐに来ないことで不安になってしまい、そのことが原因でトラブルが起こることがある。メールの返信の速さや量が、友達との関係の深さをはかるものと思ひ込みコミュニケ

ーションに疲れを感じている子どもや、インターネット上に自分や友人の写真などを送信して起こるトラブルも増加している。そこで、本題材では、ケータイメールの特性を理解させるとともに、相手の立場や気持ちを思いやる心と情報発信で気を付けなければならないことについて考えさせたい。

3 研究主題に関わって

【伝え合うための指導方法・指導形態の工夫】

本時の授業の後半には、SNSでトラブルを起さないためにはどうしたらよいか、情報モラル教育教材の提示動画や解説動画を見て考える時間を設定した。ふかめるでは、主人公の問題点を交流し合い、まとめでは、メールでトラブルが起きないようにするには具体的にどうするとよいか、自分の考えを発表できるようにした。

4 ICT機器の活用について

（1）使用する主なICT機器

- ・ノートPC
- ・情報モラル教育教材

（2）ICT機器を活用する意図と配慮

メール依存をしている子どもの話の提示動画を視聴することによって、メール依存の問題を視覚的に捉えることができるようにする。また、今後メールでのコミュニケーションの方法をどのようにしていくとよいか考える過程で、解説動画を見せることによって、一人一人がメールに依存しないで生活を送るためにはどうするとよいかを考え、自己目標を立てることができるようになる。

5 事前アンケート結果

- Q1 あなたは、自分のケータイもしくは、家族のケータイを使っていますか？
・はい（81%） ・いいえ（19%）
- Q2 あなたは自分の家では自分が使うケータイの利用の仕方は決められていますか？（もっている人限定）
・はい（57%） ・いいえ（35%）
- Q3 将来ケータイを持ちたいと思っていますか？
・はい（97%） ・いいえ（3%）
- Q4 いつからケータイを持ちたいと思っていますか？
小学生9人・中学生8人・高校生17人・大学生1人・働き出したら2人・持たない0人
- Q5 ケータイを持ったら、どんなことに使いたいですか？
メール、電話、ライン、ゲーム、youtube、yahoo

6 本時の目標

メールを使用するときには、相手の気持ちを考える、返信を強要しない、送信する時間帯や場面を考えるというマナーが大切であることを理解することができる。

7 本時の展開

深めの発問

評価規準

※ICT活用について

過程	主な学習活動	指導・援助
つかむ	1 事前アンケートの結果を示す。 ・家にインターネットに接続できて、あなたが使えるパソコンがありますか？ ・あなたは、自分の携帯電話を持っていますか？ 2 課題を設定する。 メールをするときには、どんなことに気をつけたらいいのだろう。	・事前アンケート結果ではSNSの利用率は低いですが、今後利用率が飛躍的に伸びることが予想できるため、本時の学習が必要であると話す。
深める	3 動画を見る。 4 主人公について思ったことやメールの使い方の問題点を話し合う。 ・メールは、いつでもすぐに相手に届いて便利だと思う気持ちが分かる。 ・あいの「悪口おことわり」という返信は、言い方がきついと思う。 ・友だちの話を聞こうとしていないのでよくないと思う。 ・メールで悪口を送るのはよくない。 ・時間帯を考えずにメールを送るのはよくない。	・メールでは、相手の忙しさなど、今現在の状況は分からないことを確認する。 ・自分がいやだなと思うメールを受け取ったときの返信について考えさせる。
まとめる	5 メールでトラブルを起こさないようにするためには、具体的にどのようにしたらよいかを考える。 (1)メールでのトラブルの原因と、気をつけることについて考える。 ・メールは便利だが、使い方を間違えると危険な道具になる。 ・メールの言葉づかいに気を付ける。 (2)発表する。 ・メールの返信をするときには、読む人の気持ちを考えることが大切。 ・相手が傷付くような言葉や悪口などは書かないようにすることが大切。 ・メールは便利だけれど、マナーを大切にしないといけない。 ・自分の都合で、簡単な言葉で返信することは、勘違いの原因になるので、返す時間がない時は、相手に分かるように送る。 6 まとめを書く。 メールを使うときは、相手の気持ちを考えたり、送信する時間帯や場面を考えたり、メールマナーを大切にしていこう。	※解説動画を視聴する。 メールが悪いの？ ・メールすることが悪いということではなく、相手の気持ちを考えて使うことが大切であることを押さえる。 SNSを使う際の注意点や、トラブルにならないようにするにはマナーを守って使うことが大切であることを理解することができる。